

## 敬老の日に寄せて

— 伸びゆく平均寿命の中で —

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 凜

人は老人になったからといって、突然、心の持ち方や考えていることが変わってしまうわけではありません。老人に特別の心理状態があるわけはありません。ただ老年期になると、身体の働きは、若いときに比較すれば低下してきますし、また老人をとりまく環境も変わってくることは確かです。したがって老人になることは、単に暦年齢が多くなることよりも、老年に随伴する身体変化や環境の変化を受けることが大きな意味を持つのです。

人は一挙に老人になるわけではありません。若いときには、さまざまな躰や教育をうけ、やがて結婚し、子供を作ります。やがて子供は成長し、恋人をつくり、結婚式をあげて親もとを離れていきます。その時、人は再び配偶者と二人きりになります。やがて定年退職をむかえ、夫婦二人で、あるいは配偶者と死別して、自分の老年を一人で歩いていかねばならないこともあります。

しかし、このような長い生涯のうちに培われた適応能力を有している、



暖かい秋晴れの中、「望洋荘祭り」で「じゃんがら」に出演が決まっている入居者様が、鐘の練習に励んでいる光景です。

職員に鐘の持ち方から叩き方などを教えてもらい、太鼓に合わせて鐘を叩く練習を何度も繰り返しながら頑張っていました。

「望洋荘祭り」で成果を披露するという事です。楽しみにしていますね！

健康な老人であるならば、いよいよ磨きがかけて、一時は損失体験のために悲嘆にくれる事があっても、これに適応し、立ち直ってゆく方々が大部分であろうと思います。時の移ろいが身にしみる敬老の日に、思うこと。"人や生物にとって、自然の営み、時間とは、過酷なもので、あらゆるものを風化させて行くのですね"

なかでも人にとっては、その一方で、命や文化を育み、磨き、熟成もさせます。それらを成し遂げてきた方々が、この「望洋荘」にも多くいらっしゃいます。

老年は決して突然起こってくるものではありません。老人には今までの生涯にわたって持続的に養われて潜在する適応能力があることを十分に察して、個々の老人に応じた助力がなされることの方が大切だと思います。そのことこそが、老人の周りにいる私たちの仕事（責任）であります。

「第四回 望洋荘祭り」

今年で四回目を迎えた「望洋荘祭り」を九月十七日（敬老の日）午前十一時三〇分より開始致しました。当日は天候も良く多目的ホール前のテラスにて、アトラクションを行なう事が出来ました。また今回の望洋荘祭りには、豊間の区長様をはじめ、婦人会の会長様など地域の皆様にも多く参加していただきました。ご家族様においても、お孫さんなど家族連れでの参加が目立ち、盛大に行う事が出来ました。



さつき太鼓さんによる和太鼓の演奏です。太平洋を背負っての迫力のある鼓動に入居者様も圧倒されていました。



下神谷青年会さんによる「じゃんがら念仏踊り」を披露頂きました。古くからいわきに伝わる文化であり、入居者の皆様にも馴染みが深く、色々な想いでご覧になっていたと思います。



職員による余興です。本当はただの演奏なのですが、毎年訳の解らない仮装に、会場の皆様は歌を聴くより「ねえあの人だ〜れ！」と戸惑いを隠せない様子でした。



今年の模擬店の様子です。今年で4回目という事もあり、段々と良い雰囲気になって来ました。今回の人気は「焼きそば」であっという間に売り切れてしまい、買えなかった方には申し訳ありませんでした。

「いわき寄席」出演者の色紙集から・

「いわき寄席」出演者の直筆の色紙を紹介致します。

五街道 雲助 師匠の作品です。

○第九回記念いわき寄席 平成二年十二月二十日

(演目) 権助魚、宿屋の富、芝浜

○第二六回記念いわき寄席 平成五年十二月六日

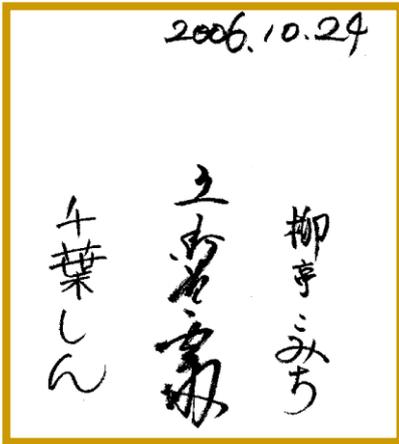
(演目) ずっこけ、明烏

○第七六回記念いわき寄席 平成十四年九月二四日

(演目) 代書屋、ずっこけ、子別れ

○第百回記念いわき寄席 平成十八年十月二四日

(演目) 幾代餅、夜鷹そば屋



五街道 雲助 師匠  
柳亭 こみちさん  
千葉 しんさん  
(第百回 いわき寄席 H18.10.24)  
寄書



五街道 雲助 師匠  
(第百回 いわき寄席 H18.10.24)  
世の中は  
喰って糞して  
起きて寝て

柳亭 痴楽 師匠の作品です。

○第五回記念いわき寄席 平成二年四月二三日

(演目) 千早ふる、崇徳院

○第二四回記念いわき寄席 平成五年八月二五日

(演目) ちりとてらん、たがや

○第五五回記念いわき寄席 平成十一年三月二二日

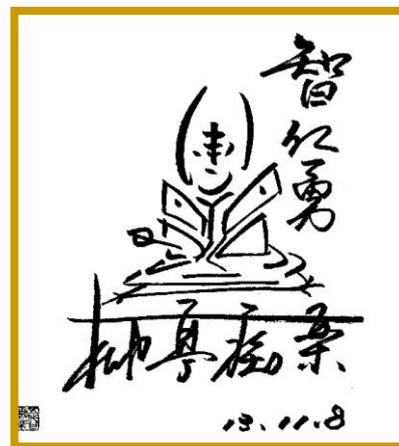
(演目) 桃太郎、大工調べ

○第七一回記念いわき寄席 平成十三年十一月八日

(演目) 雑俳、錦の袈裟

○第八九回記念いわき寄席 平成十三年十一月八日

(演目) 天災、時そば、つづり方狂室



柳亭 痴楽 師匠  
(第71回いわき寄席 H13.11.8)  
智仁勇



柳亭 小痴楽 師匠  
(第24回いわき寄席 H5.8.25)  
笑う門には  
福が来る

柳亭 喜多八 師匠の作品です。

○第二七回記念いわき寄席 平成六年二月二一日

(演目) 粗忽の釘、やかんなめ、もぐら泥

○第四九回記念いわき寄席 平成九年十月二八日

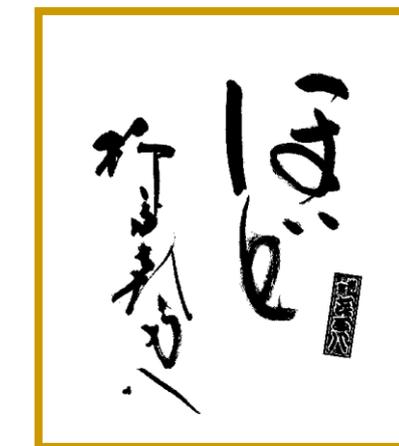
(演目) 小言念仏、欠伸指南、是清

○第六七回記念いわき寄席 平成十三年三月二六日

(演目) 旅行日記、味噌蔵、紺屋高尾

○第百二回記念いわき寄席 平成十九年六月十八日

(演目) だくだく、痲癩、笠碁



柳亭 喜多八 師匠  
(第102回いわき寄席 H19.2.21)  
ほど



柳亭 喜多八 師匠  
(第102回いわき寄席 H19.2.21)  
こころ

## 「家族会」の皆様へ感謝

九月十七日（敬老の日）望洋荘祭りにおいて、家族会より豚汁の特別提供がありました。暖かい豚汁に入居者様をはじめ来荘者の皆様からも、美味しいと大好評でした。



家族会役員の皆様に、前日にテント設営や望洋荘祭りののぼり立てなどの準備をお手伝いいただいたり、当日は朝早くから豚汁の仕込みを行ない、入居者様の昼食に各ユニットに豚汁を配膳いただいたり、来荘者へ暖かい豚汁でお迎えいただいたりと大活躍でありました。また、最後の片付けにも積極的にお手伝いを頂きました。家族会の皆様の御協力に職員一同感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

## 「カラオケセット」ご寄贈戴きました。

入居者様のご家族であります田村義輝様より、入居者の皆様にもっと娯楽の幅を広げて、楽しんで欲しいと「カラオケセット」のご寄贈がありました。

これに合わせ望洋荘家族会様より、カラオケDVDソフトのご寄贈を戴きました。

早速、望洋荘祭りではカラオケセットを使い、入居者様やご家族の皆様でカラオケを楽しまれました。今後も施設の入居者様をはじめ多くの方々にカラオケを楽しんでいただける様に、大切に使用させていただきます。高価な品々のご寄贈を戴きありがとうございました。



### 【カラオケセット】

現在は、二階多目的ホールに設置されていますが、キャスター付ラックのお陰で、移動可能になっています。各ユニットの行事などで大活躍しています。皆様もご来荘の際には一曲如何でしょうか？

## 十月の行事予定

十月四日（木）午前九時～午後三時  
江名中学校生徒の「体験学習」  
十月十九日（金）午後二時三〇分～  
施設全体「非難訓練・消火訓練」

### 【十月のお誕生会予定】

十月一日生まれ 十月三日（水）午前九時三〇分～  
四倉 福井 キ子様（九四歳）誕生会  
十月二日生まれ 十月三日（水）午前九時三〇分～  
四倉 佐藤キクエ様（七五歳）誕生会  
十月九日（火）午前一〇時～  
永崎 齊藤 清様（八十歳）誕生会  
十月十日（水）午後二時三〇分～  
永崎 阿部ナツ子様（八五歳）誕生会  
十月一七日生まれ 十月十七日（日）午前十時～  
薄磯 鈴木 勝弥様（八九歳）誕生会  
十月二二日（月）午後二時三〇分～  
永崎 梅津 島子様（八四歳）誕生会  
十月二五日生まれ 十月三日（水）午前九時三〇分～  
四倉 田村ハナヨ様（九三歳）誕生会  
十月二九日（月）午前十時～  
薄磯 安斎富美子様（八三歳）誕生会

### 編集後記

『望洋荘』便り  
平成十九年九月三十日発行  
発行所 いわき市

平豊間字合磯三十九番地  
社会福祉法人 りんさく福祉会

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 55-7373  
FAX (0246) 55-7255